

中央アルプス木曽駒ヶ岳森林生態系保護地域

管轄森林管理局・署	中部森林管理局・木曽森林管理署、南木曽支署
所在地	長野県木曽郡上松町、大桑村
面積	4140.20 ha（保存地区 1812.61ha 保全利用地区 2327.59ha）
設定年	平成8年3月29日設定・平成9年4月1日小班の見直し
保護林の概要 （設定目的）	日本海型気候から太平洋型気候への推移帯である本州中央部に位置し、標高が1200m～2900mの範囲にあることから、山地帯から高山帯まで、中央アルプスにおける原生的で多様な天然林を有している。自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、森林施業・管理技術の発展、学術研究等に資することを目的とする。



モニタリング調査の概要

実施年度	令和6年度
調査項目	森林詳細調査、森林概況調査、資料調査、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査（立木調査・植生調査）として調査プロットを4箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測や定点写真の撮影、下層植生の種組成の概要を把握した。 森林概況調査として、調査ルートを設定し、林分の発達段階や病虫害、気象害、鳥獣害の被害状況等を把握した。
結果概要	確認できた影響　〔 ア（野生鳥獣） 〕 良好な山地帯～亜高山帯の森林環境を形成している。 森林被害は顕在化していないが、ニホンジカの侵入が確認されていることから、生息動向に注意が必要である。 巡視等による継続的なモニタリングが求められる。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。